

# 郡上農林事務所の普及活動状況 令和8年2月28日現在

## 今月の重点活動

### ■担い手 地域計画更新に係る協議の場の開催

郡上市では、昨年度、地域計画が市内17地区で策定された。

この計画は、地域で今後の中心となる農業者や将来の農地利用のあり方を話し合い、地図にまとめた「未来の設計図」であり、毎年見直していくことが大切であると言われている。

このため、各地域で、担い手や集落協定・農地活動組織代表者や関係機関（市・JA・県）が参加し、地域計画の更新が進められている。

こうした中、白鳥町越佐地区では、担い手の不在を機に、農事組合法人「越佐みらい」が設立され、農地を守る組織として事業を展開する動きがある。

農業普及課では、こうした集落営農組織の活動を支援していく。



【地域計画更新に係る協議の場】

## 郡上の農業・農村を支える人材育成

### ■就農支援 新規就農者の就農状況を確認

郡上市では、新規就農時の経済的負担を軽減する「農業次世代人材投資事業」および「新規就農者育成総合対策」等の事業を活用して就農した農業者の就農状況の確認を市、JA、県により2月18～25日に実施した。

夏季は現地での栽培状況を確認したが、今回は室内で書類を中心に就農者から現時点の技術習得状況や青年等就農計画の達成状況等を聞き取り、現在の課題、今後の計画に対して助言を行った。

また、次年度から研修を開始する新規就農意向者に対しては、あすなる農業塾長とともに研修内容、次年度の年間計画の協議・情報共有を図った。

農業普及課では、新規就農者の早期営農定着に向け、関係機関と連携を図りながら各種支援を行っていく。



【研修計画協議の様子】

## 郡上農産物のブランド展開

### ■夏だいこん ひるがの高原だいこん生産出荷組合が個別面談を開催

ひるがの高原だいこん生産出荷組合が、2月2～4日に個別面談を行った。

個別面談では、令和8年産のだいこん栽培に向け、組合員と農業普及課、JAで栽培暦や現地圃場の状況、次年度に使用する資材等についての確認を行った。

組合員からは、「だいこんで使える農薬が減ってきており、限られた農薬で防除をしている。新しくだいこんで使える農薬がでてきたら情報提供してほしい」との意見があった。

農業普及課では、関係機関とともに産地の維持発展に向け支援を継続する。



【個別面談の様子】

